

香川大学で公開講座を実施

(ブランディング)

12月11日(木)、18日(木)、1月8日(木)に、香川大学大学院地域マネジメント研究科(ビジネススクール)で、公開講座「地域活性化と観光創造」を実施しました。本講座は当機構の提供講座として開講しており、毎回、四国で活躍する観光に携わる方々を講師にお招きして地域の現状や課題などをお話しいただき、受講者に観光振興の重要性と課題解決方法を学んでいただくことを目的に実施しています。

今後も2名の講師をお招きしてお話しいただきます。これからの聴講のお申し込みも可能(オンライン可)ですので、是非下記二次元コードからお申し込みください。

<各回、18時20分~19時50分(90分間)>

2025年12月11日(木)

せとうち観光専門職短期大学
学長 安村 克己 氏
観光は持続可能なコミュニティをつくれるか?



2025年12月18日(木)

四国西予ジオミュージアム
館長 高橋 司 氏
ジオパークを通じた地域振興と観光



2026年1月8日(木)

(一社)四国八十八ヶ所霊場会
会長 海老塚 和秀 氏
千年先に伝えたい四国遍路の魅力



講義の様子

香川大学ビジネススクール公開講座
Regional Vitalization and Tourism
地域活性化と観光創造

本講座は一般社団法人四国ツーリズム創造機構・四国経済連合会の提供講座です。
地域活性化については、地域の視点から考えていきます。地域における観光創造実現のためには、地域の持つ自然資源、文化資源、人的資源などを持続可能な形で活用するとともに地域社会における公共的価値形成を図ることが求められます。
本講座では名客のゲスト講師をお招きして、地域の観光を醸成する観光の取組と課題を明らかにし、観光振興の重要性を深めるとともに課題解決方法を学ぶことができます。

◆参加方法
対象：(定員50人)または オンライン(Zeem)
◆開催日時
12/11、12/18、1/8、1/15、1/22(全て本曜日)
18:20~19:50
◆受講料：無料
◆場所：香川大学町南キャンパス(DRI棟1階11号講堂)
オンラインの場合はZeem

12/11(木) 観光は持続可能なコミュニティをつくれるか? 安村 克己 氏 せとうち観光専門職短期大学 学長	12/18(木) ジオパークを通じた地域振興と観光 高橋 司 氏 四国西予ジオミュージアム 館長
1/8(木) 千年先に伝えたい四国遍路の魅力 海老塚 和秀 氏 (一社)四国八十八ヶ所霊場会 会長	1/15(木) ウミガメの聖地 日和佐 その歴史と継承 平手 康市 氏 日和佐うみかめ博物館カレッタ 館長
1/22(木) TEAM MOTTAINAI OSEKKAIの取組み 向井 良太郎 氏 トヨタカローラ香川株式会社 代表取締役	こちらのQRコードからお申し込みください 対面 オンライン

問い合わせ：香川大学 大学院 地域マネジメント研究科 共同研究室
〒760-8523 香川県高松市幸町2-1 TEL: 087-832-1955 FAX: 087-832-1900 E-mail: contact@bukagawa-u.ac.jp

公開講座の案内チラシ

<今後の講座>

2026年1月15日(木)

日和佐うみかめ博物館カレッタ
館長 平手 康市 氏
ウミガメの聖地 日和佐 その歴史と継承

2026年1月22日(木)

トヨタカローラ香川株式会社
代表取締役 向井 良太郎 氏
TEAM MOTTAINAI OSEKKAIの取組み



(対面)



(オンライン)

申し込みの二次元コード

愛南町の2事業者が国際的な海洋環境認証制度「グリーンフィンズ」を取得 同認証の認定式に出席 & 愛南町長を訪問

(ブランディング)

12月21日（日）、愛南町にある「西海観光船」と「DIVE愛南」が、海洋環境保護の国際基準「グリーン・フィンズ」^(※1)の「ブロンズランク」に認定されました。同日、愛南町役場で認定式が執り行われ、認定員による評価報告と中村維伯町長から認定証の授与があり、認定を受けた西海観光船代表の高橋翔氏から「地域全体で愛南町の海を考えてほしい」との思いが述べられました。

式典後、中村町長を訪問し、当機構が推進する「持続可能な観光」への取組み状況を説明しました。また、意見交換では、同町の海洋資源や「ぎょしょく教育」^(※2)の活用に加え、国際認証の取得を地域の文化資源や地場産業の継承、関係者との結束強化に繋げていくことの重要性を確認しました。

また当日、郷土料理のコンテンツ化に向けた体験会や、環境保全と観光振興の両立を図る住民・関係者向けの意識醸成セミナーも開催され、地域を挙げた機運醸成が図られていました。

※1 グリーンフィンズ … UNEP（国連環境計画）と、サンゴ礁及びその他生態系の保全と持続可能な開発の両立を目的に活動を展開する「Reef-World財団」が共同で開発した、サンゴ礁保護を目的とした海洋観光の国際基準。環境に配慮したダイビングやシュノーケリングの指針を定め、厳格な評価制度を通じて観光による環境負荷の低減を目指している。

※2 ぎょしょく教育 … 愛南町の「魚」に係る営みを、生産から消費、さらに生活文化までの7つの観点（「魚触（魚に触る）」、「魚色（魚の特色）」、「魚職（とる漁業）」、「魚殖（育てる漁業）」、「魚飾（魚の伝統文化）」、「魚植（魚を巡る環境）」、「魚食（魚の味）」）から学習するプログラム。

(実施日時) 2025年12月21日（日）14:00～14:20^(※)

※前後に「食のコンテンツ体験会（10:30～12:00）」「意識醸成セミナー（14:30～16:00）」を実施。

(実施場所) 愛南町役場3階 大会議室（愛媛県愛南町）

(機構参加者) 松本チームマネジャー、井上マネジャー



認定式での記念撮影の様子



愛南町・中村町長訪問の様子



食のコンテンツ体験会で提供された郷土料理

四国「持続可能な観光」推進ネットワーク会員の伊方町を訪問 西条市副市長と「持続可能な観光」に関する意見交換を実施

(ブランディング)

12月22日（月）、四国「持続可能な観光」推進ネットワーク会員の伊方町を訪問し、今後の活動に向けた意見交換を行いました。

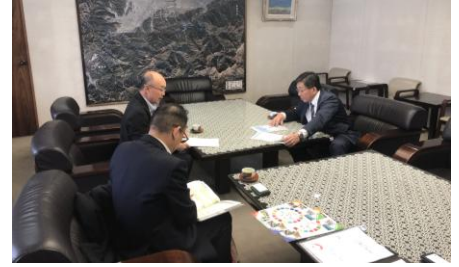
また、25日（木）には、愛媛県西条市を訪問し、明比卓志副市長と「持続可能な観光」の推進に向けた提案と意見交換を行いました。

西条市は、石鎚連峰や名水百選の「うちぬき」、「西条まつり」など豊かな観光資源を有する一方、主要な集客施設であった工場見学施設の操業終了などに伴い、新たなコンテンツの創出や情報発信の強化が課題となっています。明比副市長は、地域DMOであり四国「持続可能な観光」推進ネットワーク会員でもある「株式会社ソラヤマいしづち」でのご経験から、今回の貴重な機会をいただく運びとなりました。

当機構の取組みや、GSTC国際認証の概要を説明したほか、四国「持続可能な観光」推進ネットワークへの入会や日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）のロゴマークの取得と活用について提案を行い、今後の展開に向けて前向きな意見交換を行いました。

引き続き、四国ブランドのさらなる拡大に向け、地域の皆さまとともに「持続可能な観光」を推進してまいります。

（実施日時）2025年12月25日（木）14:00～14:30
（実施場所）西条市役所 4階 応接室（愛媛県西条市）
（機構参加者）桑村本部長、松本チームマネジャー、井上マネジャー



西条市・明比副市長との意見交換の様子

ANA誘遊四国キャンペーン「小豆島満喫プラン」発売に併せてPRを実施

（マーケティング）

現在実施中の「ANA誘遊四国キャンペーン（対象：2025年9月1日出発分～2026年3月30日出発分）」において、12月1日出発分から「小豆島満喫プラン」(*)の販売が開始されました。

販売開始に合わせ、キャンペーンの認知度向上を図るため、小豆島国際ホテルで兼業中のANA長坂CAによるインスタライブを実施しました。インスタライブでは、同キャンペーンの案内のほか、小豆島のおすすめスポットやホテルの魅力などを紹介しました。

引き続き、同キャンペーンを通じ、首都圏から多くの方々に四国へ足を運んでいただけるよう、誘客促進に取り組んで参ります。

※ お得な「小豆島タクシー周遊プラン」や「小豆島レンタカープラン」が用意されています。
詳細は[こちら](#)または右下の二次元コードからご覧ください。

（実施日時）2025年12月2日（火）12:00～13:00
（実施場所）インスタライブ ※小豆島国際ホテルから配信
（出演者）ANA兼業CA長坂様
（実施内容）ANA誘遊四国キャンペーンの説明
小豆島のおすすめスポット・ホテルの紹介 等



ANA誘遊四国キャンペーン
「小豆島満喫プラン」案内パネル

第12回タウン誌とのミーティングを開催

（マーケティング）

四国内のタウン誌のネットワークを活用した「しこくり」の参画施設の拡充や、各地域のトレンドを「しこくり」アプリ内で発信するなど、相互連携による四国内の周遊や誘客のさらなる促進を目的に、今年度3回目の各県タウン誌との定例会議を開催しました。

会議では、「しこくり」の新規開拓進捗状況のほか、今年度PR告知活動で連携した当機構実施の「しこくりキャンペーン」や、JB本四高速グループ企画のスマホスタンプラリー「四国巡りんく」についての結果報告や進捗状況についても共有しました。

（開催日）2025年12月4日（木）
（開催方法）オンライン
（参加者）あわわ、ナイスタウン、エス・ピー・シー、（ほっとこうちは欠席）
（機構参加者）桑村本部長、松本チームマネジャー、藤井マネジャー、流マネジャー

Discovery Channelにて「城泊」をテーマにした広告記事が公開中

(マーケティング)

日本政府観光局（JNTO）が実施する「広域連携プロモーション事業」の一環として、四国運輸局と連携し、Discovery Channelでの広告記事が公開中です（12月15日（月）から公開）。

本事業では、JNTOが確保したグローバルメディアの広告枠を活用して、日本各地域の魅力を深掘りした記事を世界へ発信しているものです。今回は「城泊（Castle Stay）」をテーマに、愛媛県・大洲城のキャスルステイや大洲城下町、香川県・丸亀城のキャスルエクスペリエンスを紹介しています。

[こちら](#)または右記二次元コードからぜひご覧ください。



メインビジュアル

四国観光・物産展「冬のぐるっと 四国めぐりフェア」を実施

(マーケティング)

12月12日（金）から14日（日）までの3日間、京都河原町ガーデン（阪急・京都河原町駅直結）にて、四国4県と当機構の合同で観光・物産展「冬のぐるっと 四国めぐりフェア～ Winter Shikoku Discovery Fair～」を実施しました。

会場では、4県の特産品販売や観光PRを行い、多くの方々に四国の魅力をお届けすることができました。

引き続き、四国4県と連携しながら、四国の魅力発信と誘客拡大に向けた各種イベントなど、協力して実施してまいります。

（実施日）2025年12月12日（金）～14日（日）

（実施場所）京都河原町ガーデン 1階イベントスペース
（京都府京都市）

（参加者）四国4県の物産担当者

（機構参加者）竹内チームマネジャー、長山マネジャー、流マネジャー



会場の様子



観光PRの様子

2025年度第2回四国インバウンド担当課室長会議を開催

(マーケティング)

12月17日（水）、四国4県とJR四国、当機構で「2025年度第2回四国インバウンド担当課室長会議」をオンライン開催しました。会議では、当機構の2025年度事業の進捗と2026年度事業の方向性の報告を行った後、四国4県やJR四国の皆さまから各種実施状況等について共有いただき、今後の誘客に向けた意見交換を実施しました。

今後も関係者の皆様と密に連携しながら、四国へのインバウンド誘客に取り組んでまいります。

（開催日時）2025年12月17日（水）

（開催方法）オンライン形式

（参加者）四国4県、JR四国インバウンド担当者、四国運輸局（オブザーバーとして参加）計12名

（機構参加者）桑村本部長 ほか10名

アドベンチャートラベルガイドネットワーク構築のためのセミナー & 意見交換会を実施

(マーケティング)

12月22日（月）、サンポートホール高松で「令和7年度 四国の魅力を届けるアドベンチャートラベルガイド育成セミナー & 意見交換会」を実施しました。本事業は、アドベンチャートラベル（以下AT）によるインバウンド誘客に向け、欧米豪からの旅行者の満足度を左右するツアーガイドの育成とビジネス機会の創出、ガイドと旅行会社とのネットワーク構築を目的としております。

セミナーでは、活躍中のATガイドと業務領域をATへ広げようとしているガイドを対象に、北海道アドベンチャートラベル協議会・会長の荒井一洋氏と北海道で活躍するATスルーガイドの馬上千恵氏を講師に迎え、「旅行会社・ランドオペレーターの見点：ATの価値を最大化する理想のガイド像と役割」と題してご講義いただきました。講義では、旅行会社がガイドに求める評価基準として「トラブル時の即応力・柔軟性」が重要であることや、現場で微調整ができるガイドの育成が今後の課題であること、スルーガイドはメインガイドと参加者との繋ぎ役として機能することなど、お話しいただきました。

セミナー後には、ATを取り扱う旅行会社10社とガイド20名で、ローテーション形式での意見交換を行い、ビジネスの創出に向けて、活発な交流を図っていただきました。

引き続き、ATを通じて四国の魅力が十分に提供できるよう、ガイドの育成に取り組んでまいります。

(実施日) 2025年12月22日（月）

(実施場所) サンポートホール高松 61、62会議室（香川県高松市）

(参加者) 四国でATガイドを行っている、または業務領域をATに広げようとするガイド 計20名
ATを取り扱う旅行会社 計10社

(機構参加者) 桑村本部長、清水CMO、竹内チームマネジャー、三好マネジャー、長山マネジャー



セミナーの様子①



セミナーの様子②



意見交換の様子

2025年度国際協力機構（JICA）四国センター課題別研修に登壇

(その他)

独立行政法人国際協力機構（JICA）では、日本各地で課題別研修を実施しています。この度、同四国センターにより、香川大学において百十四経済研究所の協力のもと、観光関連の研修「観光マーケティング・プロモーション」について様々な講座や視察が展開されました。11月29日（土）からの四国への視察には、スリランカやペルー、モロッコ、パラオなど17カ国から、政府機関の観光担当官が来日されました。

JICAからの依頼を受け、当機構では、広域連携DMOの役割や、サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズム等の実施事業について説明を行いました。参加者からは四国遍路やGSTC認証、アドベンチャーツーリズムについて質問が挙がるなど、自国の観光行政にも参考にしたという意思が感じられました。

(開催日時) 2025年12月1日（月）

(開催場所) 香川大学総合教育棟 1階多目的室（香川県高松市）

(機構参加者) 桑村本部長



意見交換の様子

JTB協定旅館ホテル連盟 四国地区合同宿泊増売会議に参加

(その他)

12月2日(火)、2025年度JTB協定旅館ホテル連盟 四国地区合同宿泊増売会議が、徳島県で開催されました。同会議は、四国4県4支部の会員施設さまが合同で開催しているもので、「四国の宿泊増売に向けた戦略」と題して、(株)JTB 取締役会長(日本旅行業協会・会長)高橋広行氏にご講演いただき、「四国はひとつ」としてプロモーションを行っていくべきであると説明がありました。

会議後に開催された意見交換会には、開催地の後藤田徳島県知事や田村四国運輸局長なども参加されました。

(開催日) 2025年12月2日(火)

(開催場所) JRホテルクレメント徳島(徳島県徳島市)

(機構参加者) 桑村本部長



後藤田 徳島県知事



植田 徳島支部長

年末挨拶に四国4県知事を訪問

(その他)

当機構の2025年度事業の実施状況報告と2026年度事業の方向性を説明するために、四国4県の知事を訪問しました。今回の訪問では、主に2026年度から2030年度を期間とする、現在策定中の「第6次四国観光交流戦略」を踏まえた今後の事業展開や四国遍路に関して意見交換を行いました。

(実施日) 2025年12月15日(月) 高知県 濱田知事、19日(金) 徳島県 後藤田知事
23日(火) 愛媛県 中村知事、24日(水) 香川県 池田知事

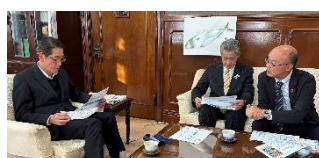
(機構参加者) 半井代表理事、桑村本部長、伊藤統括副本部長ほか各県からの出向者



高知県訪問



徳島県訪問



愛媛県訪問



香川県訪問

今月のオウンドメディア等

(清水CMOからの情報)

昨年末に[令和8年度観光庁関係予算決定概要](#)が発表されました。前年度当初予算に比べて2.4倍の1,383億円となっており、予算額が大幅に拡充いたしました。これは、2026年7月から日本からの出国1回あたりの税額（国際観光旅客税）が1,000円から3,000円に引き上げられることなどが関係しています。そこで今回は、当機構や観光関連事業者の皆さまに関係する事業をピックアップしてご紹介いたします。なお、本記事は、「[観光庁関連予算決定概要](#)」（以下、概要。）を参考としておりますが、下表の施策名に付している連番は便宜上付記しているものです。

また、はじめに大枠を把握いただくための[解説動画](#)（※）を用意しましたので是非ご覧ください。

※約3分の字幕付き動画ですので、音声なしでも閲覧可能です。

※動画が生成AI（Gemini）を活用して制作したものです。

あくまで概要を掴んでいただくためのものですので、詳細や正確な内容は国の概要をご確認ください。

解説動画
(Gemini使用)



以下、施策一覧（紙面の関係上、2025年度の補正予算は省略しております。）

(単位：百万円)

施策一覧（事業名）	2026年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	対前年度倍率 (A/B)
(1-1) オーバーツーリズムの未然防止・抑制をはじめとする観光地の受入環境整備の促進	10,000	1,199	8.34
(1-2) 地域一体となった持続可能な観光地域づくりの推進	1,879	852	2.21
(1-3) 円滑な出入国の環境整備	12,777	7,881	1.62
(1-4) 円滑な通関等の環境整備	7,051	2,428	2.90
(2-a-1) 戦略的な訪日プロモーションの実施	13,627	13,000	1.05
(2-a-2) 広域で連携した観光戦略に基づく取組の推進・強化	-	-	-
(2-a-3) DMO総合支援事業	2,000	1,095	1.83
(2-a-4) 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業	4,000	1,900	2.11
(2-a-5) 質の高い消費と投資を呼び込むためのデジタルノマド誘客促進事業	100	100	1.00
(2-a-6) ウポボイを通じた海外へのアイヌ文化の発信とインバウンド需要の創出	100	0	新規
(2-a-7) 文化資源を活用した全国各地のインバウンド創出・拡大	22,388	8,417	2.66
(2-a-8) 国立公園等のインバウンドに向けた環境整備	17,811	5,860	3.04
(2-b-1) 空港におけるFAST TRAVELの推進	4,000	1,633	2.45
(2-b-2) ボトルネック解消に向けた空港機能の抜本的強化事業	2,883	0	新規
(2-b-3) 天候トラブル時の空港への旅客滞留・混雑防止対策事業	1,000	0	新規
(2-b-4) 空港アクセス鉄道の整備・機能強化への支援	525	0	新規
(2-b-5) パーク&レールライドによる観光地の混雑緩和事業	875	0	新規
(2-b-6) クルーズ等訪日旅客の受入促進事業	1,000	200	5.00
(2-b-7) ローカル鉄道観光資源活用促進事業	4,600	0	新規
(3-1) 双方向交流の拡大に向けた環境整備	500	20	25.00
(3-2) 日米交流関係強化を通じた地方誘客促進等事業	300	0	新規
(3-3) MICE誘致・開催促進事業	1,297	879	1.48
(3-4) 通訳ガイド制度の充実・強化	109	73	1.50
(3-5) 国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業	1,300	1,338	0.97
(3-6) 万博レガシー事業	250	0	新規
(3-7) 地域観光資源の多言語解説整備促進事業	500	600	0.83
(3-8) 多様な食習慣や文化的慣習を持つ訪日外国人旅行者の受入環境整備に向けたモデル事業	100	80	1.25
(3-9) GREEN×EXPO2027を契機としたインバウンド促進事業	257	0	新規
(3-10) 廃屋撤去・再生による地方温泉地等のまちづくり支援事業	1,000	0	新規
(3-11) 健全な民泊サービスの普及	743	107	6.92
(3-12) 能登半島地震からの復興に向けた観光再生支援事業	500	0	新規
(4-1) 観光統計の整備	693	673	1.03
(4-2) 地域の観光振興の効果測定	114	0	新規
(4-3) 日本人旅行者の安全・安心な海外旅行環境の整備	17,490	0	新規
(4-4) 大手休憩所（仮称）の整備	5,775	4,897	1.18
(4-5) 経常事務費等	800	791	1.01
(4-6) 前年度限り	0	3,907	-
-	138,344	57,930	2.39

今月のオウンドメディア等

(清水CMOからの情報)

【当機構事業に直結する予算】

(2-a-1) 戦略的な訪日プロモーションの実施 (13,627百万円) … [概要スライド11](#)

- JNTOの各種事業を実施。
- 同事業内でJNTOと四国運輸局・広域連携DMOとの連携事業の実施もあり、2025年度は、当機構との連携事業として下記を実施。
 - ・ ディスカバリーチャンネルでLP制作 + PR動画・WEB広告
 - ・ シンガポール市場において旅行系メディアを招請・記事化
 - ・ オーストラリア市場においてインフルエンサーを招請・記事化



【遷移先：[ディスカバリーチャンネル記事](#)】

(2-a-3) DMO総合支援事業 (2,000百万円) … [概要スライド13](#)

- 2025年度までの「[地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業](#)」に相当。
- 当機構ではインバウンド関連事業で数多く活用。2025年度は、
 - ・ サステナブルツーリズム動画制作・発信事業
 - ・ アドベンチャートラベルガイド育成・ネットワーク構築事業
 - ・ 訪日外国人旅行者の四国への誘客に向けた旅行商品造成促進事業（FAMツアー及び商談会実施）
 - ・ アドベンチャートラベル販売促進事業（FAMツアー実施及び販売フォローアップ）

また、今年度事業からの変更点（※）として、広域連携DMOが策定する「[広域連携観光戦略](#)」に基づく取り組みへの支援が含まれたほか、[補助対象の請負先に「民間事業者」が追加](#)されました。

※詳細については観光庁から1月下旬に説明があるとのこと。

(4-2) 地域の観光振興の効果測定 (114百万円) … [概要スライド45](#)

- 本項目には、「観光振興策を定量的に計測できる効果測定・検証の結果を取りまとめ、横展開を図る」との記載があります。現時点では詳細が明らかではありませんが、DMO登録ガイドラインの改正に伴い、DMOが必須で計測すべき重要目標達成指標（KGI）である「[経済波及効果](#)」の計測ツール整備に関連するものである可能性があります。

【その他関連予算】

(1-2) 地域一体となった持続可能な観光地域づくりの推進 (1,879 百万円 (※)) … [概要スライド8](#)

- 持続可能な観光をさらに進めるため、[施策立案・ロードマップの策定から観光交通確保に向けた受入環境整備や無電柱化推進、先進的なサイクリング環境整備](#)など幅広い用途に活用可能。
- ※2025年度補正予算も活用することで、更に予算額が増える見込み。

(2-a-4) 地域の観光資源充実のための環境整備推進事業 (4,000百万円) … [概要スライド14](#)

- 地域資源・歴史的資源を活用した観光まちづくりに活用できる事業。
- ※ 2025年度までの「[歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業](#)」に相当か。2025年度は四国内での採択実績はありませんが、2024年度に「[丸亀城城泊事業](#)を核とした丸亀市内の滞在型観光の創出」として採択例があります。

(2-a-7) 文化資源を活用した全国各地のインバウンド創出・拡大 (22,388百万円) … [概要スライド17～19](#)

- 文化施設や文化財、日本文化（伝統体験、アニメなど）を活用したコンテンツ造成・プロモーションに活用。
 - 具体的には、①地方誘客の核となる拠点の整備、②国宝等の文化財の公開促進、③本格的な日本文化を体験できるコンテンツの造成・地方の文化資源磨き上げ・海外プロモーション強化が含まれます。
- ※ 2025年度までの「[地方創生プレミアムインバウンドツアー集中展開事業](#)」などに相当か。

今月のオウンドメディア等

(清水CMOからの情報)

(2-a-8) 国立公園等のインバウンドに向けた環境整備 (17,811百万円) … 概要スライド20, 21

- 瀬戸内海国立公園及び足摺宇和海国立公園を有する四国では、いずれの県でも活用の余地あり。
 - 廃屋の撤去・Wi-Fi・トイレ洋式化等、幅広く活用可能。
- ※ 2025年度までの「国立公園等資源整備事業費補助金」に相当か。同補助金では
 国定公園（室戸阿南海岸国定公園, 剣山国定公園, 石鎚国定公園）でも利用可。



(2-b-7) ローカル鉄道観光資源活用促進事業 (4,600百万円) … 概要スライド29

- 新規事業。
- インバウンド受入に対応した駅舎の改修、観光車両の整備などのハード面から、広告宣伝費、旅行商品の開発などのソフト面まで幅広い用途。



(3-8) 多様な食習慣や文化的慣習を持つ

訪日外国人旅行者の受入環境整備に向けたモデル事業 (100百万円) … 概要スライド38

- ヴィーガン対応メニューの開発やマップ整備、SNS等を活用した情報発信、体験コンテンツや周遊ツアーの作成などに活用可。また、地方公共団体、DMO、飲食業、宿泊業、旅行業等の観光関係者が連携して面的な旅行環境整備に取り組むモデル実証（事業実施計画の策定、専門家による伴走支援等を通じた実証事業の実施）なども実施可。

- ※ 2025年度も「多様な食習慣や文化的慣習を持つ訪日外国人旅行者の受入環境整備に向けたモデル事業」で実施。
- ※ 四国での採択はなし。

【2025年度補正予算】

(4-1) インバウンド消費動向調査の改善に向けた見直し (100百万円) … 概要スライド58

- 結果精度の向上や安定的なデータの確保に向けた、調査体系の見直しを検討。
 結果精度の向上 … ビッグデータ等の有効活用を含めた地域調査データの強化
 例) クレジットカード決済データ等を活用した「買物代」の集計精度の高度化』との記載があることから、三井住友銀行「Custella (カステラ)」などの活用を想定か。

(4-2) 観光需要分散のための地域観光資源のコンテンツ化促進事業 (4,900百万円) … 概要スライド59

- 地域資源を活用したコンテンツ造成や情報発信・販路開拓、高単価なインバウンド向けオプションツアー等の造成に向けた品質向上、地域の食文化を体感できるガストロノミーコンテンツの造成に活用可。
- ※ 2025年度までの「地域観光魅力向上事業」及び「『食』の力を最大活用したガストロノミーツーリズム推進事業」が統合されたイメージか。

現時点では概要段階に過ぎず、2025年度予算から名称が変更されている事業も多数ございますので注意が必要です。（※上記で記載した対応する過年度事業名は、あくまで推測によるものです。）
 一方で、予算額そのものは大幅に増額されておりますので、活用できる事業がないか、観光庁などが主催する補助金説明会などを是非ご確認いただければと思います。
 引き続き、国の2026年度予算の動向を注視し、皆さまへ有益な情報提供を行ってまいりたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

代表理事の主な動静

- 12月 5日 (金) 定例会議・推進会議 (当機構の会議)
- 15日 (月) 高知県 濱田知事訪問
- 19日 (金) 徳島県 後藤田知事訪問
- 23日 (火) 愛媛県 中村知事訪問
- 24日 (水) 香川県 池田知事訪問
- 25日 (木) 定例会議・推進会議 (当機構の会議)

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考 (公式サイト等)
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日 (火) ～2026年3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html

1月以降の主な予定表

区分	1月	2月	3月
マーケティング (国内)	ANA誘遊四国キャンペーン2025 (9月～3月)		
マーケティング (国内)		四国観光物産展 (2月7～8日/明石市)	
マーケティング (国際)	そらの郷催事同行等 (1月21～28日/シンガポール、マレーシア)	Japan Roadshow (2月2日/オーストラリア)	香川県商談会同行 (3月4～7日/ベトナム)
マーケティング (国際)		豪州旅行会社向けウェビナー (2月18日/オンライン)	JNTOマーケット研究会 (3月13日/オンライン)
ブランディング	四国「持続可能な観光」 先進地視察 (2月2、3日/小豆島)	四国「持続可能な観光」 推進ネットワーク 第12回会議 (2月19日/三好市)	Greater WEST JAPAN 連携会議 (3月6日/広島市)
ブランディング		サイクルモードライド (3月7、8日/吹田市)	
ブランディング	第3回意見交換会 (1月19日/松山市)		理事会・臨時社員総会 (3月24日/高松市)

(一社) 四国ツーリズム創造機構
 事業推進本部 ブランディングチーム 神野、藤井
 TEL : 087-813-0431 FAX : 087-813-0312
 Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>
 Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/?hl=ia>



SHIKOKUTOURISM